



徳島大学長 香川 征

徳島大学長 あいさつ

地域の絆の再生を目指して

― 居場所と出番の確保 ―

大学の使命はいうまでもなく①教育 ②研究 ③社会貢献の3つです。この3つの使命全てに地域との連携が必要であり、その結果、地域の知の拠点としての役割を発揮することができるわけです。

少子高齢化がますます進行している現在、また将来において地域の絆を重要視し、また新しく再生する必要があります。特に高齢化率は現在20%ですが、2030年に30%、2050年には40%となり、とりわけ20年後には75才以上の人口が倍増することが予想されています。

そのような時代においては、個人、組織ともにそれぞれが自分の居場所と出番を意識することによって連携が深まり、地域の絆が強くなると思われます。

徳島大学の地域連携戦略本部の地域連携推進室では、平成15年2月に発足した「徳島地域連携協議会」とも連携しながら、県内市町村でのタウンミーティングや地域交流シンポジウムなどを開催するとともに、徳島大学における地域連携ポリシーの実現、さらに徳島大学地域・国際交流プラザ(日亜会館)1階に設けられた「ガレリア新蔵」では、大学シーズの公開展示や学内外のイベント開催を通じて、大学の社会開放や地域連携にも努めています。

さらに、平成19年4月に「徳島大学地域創生センター」を発足させ、地域連携支援や地域活性化に関する特色ある教育研究活動の実践的な推進を目指しています。

今、グローバル化、国際化が叫ばれている状況で、地域社会の強化を基盤としなければグローバル化も進みません。

徳島大学は、この地域社会の絆の強化、基盤確立に少しでも応えられるよう役に立てるよう努力し、たく思っています。